

2026 年度 適合審査業務について

平素は当センターの活動にひとかたならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

1. 見積書提出について

1.1 見積依頼の参考様式を添付いたします。

他の様式でもかまいませんが、業務名（事業名）・地区名・計画処理方式・規模（計画処理人口）、付加する設備等を明記してください。

また、業務内容、業務時期、特殊事情などがありましたら簡潔にご記入ください。（近年、農業集落排水処理施設の改築・統合などの事例が増えております。適合審査業務の概要を簡単に記載していただければ幸いです。）

1.2 見積依頼はお手数ですが下記宛にメールしてください。

（お申し出いただければ、見積依頼書の電子データ(エクセル)をお送りいたします。）

正式な見積書送付に先立って、見積書（案）をお送りして、内容のご確認をいただきます。

<依頼先>

〒105-0004 東京都港区新橋五丁目3 4 番 4 号

一般社団法人 地域環境資源センター

設計審査班

e-mail：小西（m.konishi@jarus.or.jp），

村井（y.murai@jarus.or.jp）

TEL：03-3432-6289、FAX：03-3432-0743

《業務内容の記載・例・》

○既設回分槽ばっ気攪拌装置を、微細気泡散気筒と攪拌装置に更新し、併せて送風機を更新する。（その他の施設・機器は既設を使用する）

○A処理区とB・C処理区の生活排水処理を統合し、既設A処理区農業集落排水処理施設（***人槽）を利用して処理槽の一部増築と改築を図る。機器・配管等の一部の更新を除いて新設とする。

一般社団法人 地域環境資源センター
理事長 林 田 直 樹 様

団体名

代表者

住所

農業集落排水○○○○○○○○補助事業
○市(町村)○○地区(○処理区)
JARUS型処理施設適合審査業務について
(依頼)

このことについて、下記により見積を依頼します。

記

1. 業務名 事業
○○県○○市町村△△地区
農業集落排水処理施設適合審査業務
2. 処理方式 処理方式 1 系列
3. 処理対象人口 人
4. 業務内容
施設条件 a 新設
 b 既設施設(改造、更新)
既設処理方式: JARUS-○○型、処理対象人口*人、*系列
機器更新のみの場合: (更新機器名)
5. 付加施設等の有無 無 有(名称:)
6. 見積書提出期限 令和8年 月 日
7. 見積書提出先 名称 / 部署 名 / 電話番号
氏名 (e-mail アドレス)
〒住所
8. その他(業務内容、業務時期、特殊事情などがありましたら簡潔にご記入ください)

2. 業務開始手続き

① 見積書提出（見積依頼）

見積依頼に当たっては、業務契約での業務名を記入してください。
（捺印して PDF をお送りください。）

② 業務申込書、名簿、確認書提出

見積書の提出と一緒に、「業務申込書、名簿、確認書、その他」の様式を、メール添付ファイル（エクセル）にてお送りいたします。

添付のエクセルファイルは業務途中・終了時までに必要な空欄を埋めて、当方にて電子データで保存します。

③ 業務開始手続き

- ・「適合審査業務申込書」をご提出ください。

適合審査業務申込書は、公印を押して原本を送付してください。

※事業名は、契約書の業務名としてください。

ご提出いただきましたら、当方から「応諾書」を送付します。

また、契約書の様式は当方のものでよろしければ、当方で作成して応諾書と一緒に送付します。

- ・契約に当たっては、契約の履行期限を知らせてください。

（契約日は空欄でもかまいません。）

当方で2部作成して送付しますので、1部に捺印して送り返してください。

3. 業務開始～納品までの流れ

① 初回打合せ（JARUS 会議室で実施、必要に応じて Web 開催も可能）

- ・業務契約締結後に初回打合せ日の調整をさせていただきます。

初回打合せ1週間前までに、容量計算書・フローシート・平断面（寸法のわかる程度）を電子ファイル（PDF 等）で当方に提出してください。

また、「名簿、確認書」（エクセルシート）の空欄を可能な限り埋めてメールに添付して送付してください。

② 適合証添付資料作成業務（主としてメールにて質疑応答）

（2ヶ月程度必要）

③ 適合証交付申請：適合審査委員会の1ヶ月前の月上旬に提出してください。

適合審査に必要な書類（適合証添付資料）の完成度によって、当方から適合審査月を連絡いたします。

<資料完成度 90%程度：市町村決裁書類によっては一式必要>

④ 適合審査事前審査会（委員会月上旬に開催）

⑤ 適合審査委員会（該当月の20日前後）

⑥ 適合証発行（委員会翌日）

⑦ 納品：委員会指摘事項がなければ委員開催日の10日後程度で送付いたします。

（指摘事項があれば、修正・確認期間が必要となります）

表-1 令和8年度 大臣認定取得 JARUS型汚水処理方式一覧表

区分	略 称	認定処理対象人口 (人)	処理性能 (赤字:大臣認定書記載数値)					適合証名称 (認定証名称の一部略あり)
			BOD	SS	COD	T-N	T-P	
生物膜処理法	JARUS-I 96型	51 ~ 1,800	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-I96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-III 96型	101 ~ 2,000	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-III96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-III G型	101 ~ 3,000	20	50	-	25	-	日本農業集落排水協会-III G型 農業集落排水処理施設
	JARUS-III R型	101 ~ 3,000	20	50	-	25	-	日本農業集落排水協会-III R型 農業集落排水処理施設
	JARUS-IV S型	101 ~ 2,000	20	50	-	20	-	日本農業集落排水協会-IV S型 農業集落排水処理施設
	JARUS-IV H型	101 ~ 2,000	20	50	20	20	1	日本農業集落排水協会-IV H型 農業集落排水処理施設
	JARUS-S 96型	51 ~ 400	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-S96型 農業集落排水処理施設
浮遊生物処理法	JARUS-X I 96型	501 ~ 10,000	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会-X I 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X II 96型	501 ~ 10,000	20	50	-	15	-	日本農業集落排水協会-X II 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X II G 96型	501 ~ 10,000	10	15	15	15	-	日本農業集落排水協会-X II G 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X II H型	501 ~ 10,000	10	15	15	15	1	日本農業集落排水協会-X II H型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X III 96型	501 ~ 10,000	10	15	15	10	1	日本農業集落排水協会-X III 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV 96型	101 ~ 6,000	20	50	-	15	-	日本農業集落排水協会-X IV 96型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV G型	201 ~ 10,000	10	10	15	10	-	連続流入間欠ばっ気方式 地域資源循環技術センター-X IV G型/201~10,000人槽/合併浄化槽/汚物処理性能
	JARUS-X IV R型	101 ~ 10,000	10	15	15	30	-	JARUS-X IV R型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV P型	101 ~ 6,000	20	50	-	15	3	日本農業集落排水協会-X IV P型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV P1型	101 ~ 6,000	20	50	-	15	1	日本農業集落排水協会-X IV P1型 農業集落排水処理施設
	JARUS-X IV GP型	201 ~ 10,000	10	10	15	15	1	鉄溶液注入連続流入間欠ばっ気方式 地域資源循環技術センター-X IV GP型/201~10,000人槽/合併浄化槽
	JARUS-X IV H型	101 ~ 6,000	10	15	15	10	1	日本農業集落排水協会-X IV H型 農業集落排水処理施設
	JARUS-F _M 型	51 ~ 700	5	5	10	15	0.5	地域資源循環センター-FM型 農業集落排水処理施設
	JARUS-膜分離	101 ~ 4,000	10	-	10	10	1	日本農業集落排水協会型 膜分離活性汚泥方式 農業集落排水処理施設
	JARUS-高度膜分離	101 ~ 4,000	10	-	10	10	1	日本農業集落排水協会型高度リン除去膜分離活性汚泥方式 農業集落排水処理施設
	JARUS-膜分離06	101 ~ 4,000	5	5	10	15	1	膜分離活性汚泥方式地域資源循環センター-06型(農業集落排水処理施設)
JARUS-OD 96型	1,001 ~ 10,000	20	50	-	-	-	日本農業集落排水協会仕様-OD 96型 農業集落排水処理施設	
JARUS-OD H型	1,001 ~ 10,000	20	50	-	15	1	日本農業集落排水協会仕様-OD H型 農業集落排水処理施設	

注:赤字は大臣認定証記載の数値です

表-2 適合審査業務委託予定額(参考例)

令和8年度 JARUS型処理施設適合審査業務 歩掛・見積金額等一覧

金額区分	加算区分	処理方式	項目 備考 (単価)	直接原価					間接原価(円)		業務原価 (円) D =A+B+C	一般管理費等		適合審査 業務価格 1万円未満 切り捨て (円) F=D+E	
				直接人件費(歩掛(人)、円)				直接経費 成果品 作成費 B	小計 1千円未満 切り捨て (円) A+B	A × α / (1-α) α=35% (円)		改め (円) C	D × β / (1-β) β=35% (円)		改め (円) E
				主任技師 (人)	技師A (人)	技師B (人)	少々計 (円) A								
①	-	一般処理方式		70,900	62,600	49,300	A	B	A+B						
②-(I)	⑨	大型、高度処理処理方式(I)		1.0	5.8	8.6	857,960	45,000	902,000	461,978	461,000	1,363,000	733,923	733,000	2,090,000
②-(II)	⑨	大型、高度処理処理方式(II)		1.3	7.7	9.9	1,062,260	45,000	1,107,000	571,986	571,000	1,678,000	903,538	903,000	2,580,000
②-(III)	⑨	大型、高度処理処理方式(III)		1.3	9.6	11.6	1,265,010	45,000	1,310,000	681,159	681,000	1,991,000	1,072,077	1,072,000	3,060,000
③	-	膜分離活性汚泥処理方式		1.3	11.7	13.4	1,485,210	45,000	1,530,000	799,728	799,000	2,329,000	1,254,077	1,254,000	3,580,000
④	④-(I)	FRP構造処理方式 S型 / (FM型 加算)		1.3	7.3	9.8	1,032,290	45,000	1,077,000	555,848	555,000	1,632,000	878,769	878,000	2,510,000
⑤	-	基本的な構造躯体使用目的の変更を行わない 改築・改修		0.6	3.4	6.1	556,110	45,000	601,000	299,444	299,000	900,000	484,615	484,000	1,380,000
				1.0	4.3	7.5	709,830	45,000	754,000	382,216	382,000	1,136,000	611,692	611,000	1,740,000

単独又は加算する方式の歩掛 (金額は単独で付加する場合)

⑥(単独又は加算)	⑥	汚泥改質機構処理付加方式		0.0	0.8	1.6	128,960	45,000	173,000	69,440	69,000	242,000	130,308	130,000	370,000
⑦(加算)	⑦	汚泥量調整機構付加方式		0.0	1.7	2.9		45,000							
⑧(単独又は加算)	⑧	紫外線消毒装置採用方式		0.0	0.8	1.6	128,960	45,000	173,000	69,440	69,000	242,000	130,308	130,000	370,000

参考：基本的処理方式に歩掛加算する処理方式の例

①+⑥	⑥	一般処理方式+汚泥改質機構処理付加方式		1.0	6.6	10.2	986,920	45,000	1,031,000	531,418	531,000	1,562,000	841,077	841,000	2,400,000
②-(I)+⑥	⑥	大型、高度処理処理方式(I)+汚泥改質機構 処理付加方式		1.3	8.5	11.5	1,191,220	45,000	1,236,000	641,426	641,000	1,877,000	1,010,692	1,010,000	2,880,000
②-(II)+⑥	⑥	大型、高度処理処理方式(II)+汚泥改質機構 処理付加方式		1.3	10.4	13.2	1,393,970	45,000	1,438,000	750,599	750,000	2,188,000	1,178,154	1,178,000	3,360,000
②-(III)+⑥	⑥	大型、高度処理処理方式(III)+汚泥改質機構 処理付加方式		1.3	12.5	15.0	1,614,170	45,000	1,659,000	869,168	869,000	2,528,000	1,361,231	1,361,000	3,880,000
①+⑦	⑦	一般処理方式+汚泥量調整機構付加方式		1.0	7.5	11.5	1,107,350	45,000	1,152,000	596,265	596,000	1,748,000	941,231	941,000	2,680,000
②-(I)+⑦	⑦	大型、高度処理処理方式(I)+汚泥量調整機 構付加方式		1.3	9.4	12.8	1,311,650	45,000	1,356,000	706,273	706,000	2,062,000	1,110,308	1,110,000	3,170,000
②-(II)+⑦	⑦	大型、高度処理処理方式(II)+汚泥量調整機 構付加方式		1.3	11.3	14.5	1,514,400	45,000	1,559,000	815,446	815,000	2,374,000	1,278,308	1,278,000	3,650,000
②-(III)+⑦	⑦	大型、高度処理処理方式(III)+汚泥量調整機 構付加方式		1.3	13.4	16.3	1,734,600	45,000	1,779,000	934,015	934,000	2,713,000	1,460,846	1,460,000	4,170,000
①+⑧	⑧	一般処理方式+紫外線消毒装置採用方式		1.0	6.6	10.2	986,920	45,000	1,031,000	531,418	531,000	1,562,000	841,077	841,000	2,400,000
②-(I)+⑧	⑧	大型、高度処理処理方式(I)+紫外線消毒装 置採用方式		1.3	8.5	11.5	1,191,220	45,000	1,236,000	641,426	641,000	1,877,000	1,010,692	1,010,000	2,880,000
②-(II)+⑧	⑧	大型、高度処理処理方式(II)+紫外線消毒装 置採用方式		1.3	10.4	13.2	1,393,970	45,000	1,438,000	750,599	750,000	2,188,000	1,178,154	1,178,000	3,360,000
②-(I)+⑦+⑧	⑦+⑧	大型、高度処理処理方式(I)+汚泥量調整機 構付加方式+紫外線消毒装置採用方式		1.3	10.2	14.4	1,440,610	45,000	1,485,000	775,713	775,000	2,260,000	1,216,923	1,216,000	3,470,000
②-(II)+⑦+⑧	⑦+⑧	大型、高度処理処理方式(II)+汚泥量調整機 構付加方式+紫外線消毒装置採用方式		1.3	12.1	16.1	1,643,360	45,000	1,688,000	884,886	884,000	2,572,000	1,384,923	1,384,000	3,950,000

加算処理方式調整		会員調整(割引)			
⑨ or ④-(I) (円)	見積金額 F' (円)	割引額 G (円)		見積金額 H (円)	
E'	F' =F+E	基本的 処理方式	加算処理 方式	基本的 処理方式	加算処理 方式
⑨		209,000	-	1,880,000	-
500,000	3,080,000	258,000	308,000	2,320,000	2,770,000
500,000	3,560,000	306,000	356,000	2,750,000	3,200,000
500,000	4,080,000	358,000	408,000	3,220,000	3,670,000
④-(I)		251,000	-	2,250,000	-
170,000	1,550,000	138,000	155,000	1,240,000	1,390,000
		174,000	-	1,560,000	-

加算処理 方式⑨	見積金額
500,000	3,380,000
500,000	3,860,000
500,000	4,380,000
500,000	3,670,000
500,000	4,150,000
500,000	4,670,000
500,000	3,380,000
500,000	3,860,000
500,000	3,970,000
500,000	4,450,000

直接人件費単価 (R8)

項目	単価(円)
主任技師	70,900
技師A	62,600
技師B	49,300